

事務連絡
令和5年7月5日

市町村教育委員会教育長
各 県 立 学 校 長 殿
教 育 事 務 所 長

茨城県教育庁学校教育部保健体育課長

スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について

学校における事故の防止と事故後の対応については、かねてから児童生徒等の安全確保の一環として取組をお願いしているところです。

スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など、様々な症状を呈する脳脊髄液減少（漏出）症とよばれる疾患が起こりうることは、平成29年3月24日付け保体第1683号等でお知らせしているとおります。

今般、別添写しのとおり、令和5年5月10日付で、スポーツ庁健康スポーツ課から、このことについて広く周知を図る文書が発出されました。

つきましては、別添の内容を御確認いただき、スポーツ外傷等の後、頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、水分補給や横に寝て安静を保つこと、また、医療機関を受診させたり、保護者に連絡し受診を促す等の適切な対応が行われるようお願いいたします。また、事故後の後遺症等により学校生活に支障が生じる事例があることから、教職員等の脳脊髄液減少症に関する理解を深めるとともに、必要に応じ、個々の児童生徒等への適切な配慮をお願いします。

なお、当該疾患の診療が可能な医療機関については、茨城県HPでも、公表の同意を得た医療機関の情報を公表していますので、御確認願います。

おって、市町村教育委員会にあっては、貴管下の学校に対し、このことを周知願います。

【参考】茨城県HP「脳脊髄液減少症について」

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/shitpei/20160803.html>

(担当) 茨城県教育庁学校教育部保健体育課 健康教育推進室 学校保健・安全担当 TEL 029-301-5349



事務連絡
令和5年 5月 10日

各都道府県スポーツ主管課
各指定都市スポーツ主管課
御中

スポーツ庁健康スポーツ課

スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について

スポーツ事故の防止と事故後の適切な対応については、かねてから御協力をいただいているところです。

スポーツ活動中に頭頸部や背部等の外傷等が発生することがありますが、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する脳脊髄液減少（漏出）症とよばれる疾患が起こることがあります。

この疾患への適切な対応については、文部科学省より各都道府県・指定都市教育委員会の学校安全主管課等に対し、「学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について」（平成29年3月21日付事務連絡）^{*1}が発出されておりますが、学校以外においても、スポーツ外傷等によって脳脊髄液減少（漏出）症が起こることがあります。

このため、スポーツ外傷等の後、頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、水分補給や横に寝て安静を保つこと、また、医療機関で受診をさせたり、家族に連絡して医療機関の受診を促すなどの適切な対応が早期に行われるよう、関係機関・団体・施設等に対して、本件を周知するようお願いいたします。また、各都道府県におかれては、域内の市区町村のスポーツ主管課に対して、本件を周知するようお願いいたします。

なお、「脳脊髄液漏出症」については、早期の受診が望まれます。安静と水分補給で改善しない場合は硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ）^{*2}（保険適用の対象）という治療法が選択される場合もあります。保険診療として治療を受けるためには、診断に関する要件や医療機関の施設基準がありますので、適宜医療機関に相談いただくよう、併せ周知をお願いいたします。

*1 文部科学省 HP 「学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について」（平成29年3月21日付事務連絡）

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1394050.htm

*2 ご本人の血液を硬膜の外側に注入し、その血液で硬膜の漏出部位を塞ぐ方法。

参考資料：チラシ兼ポスター「スポーツ外傷等による脳脊髄液減少（漏出）症への適切な対応について」

【本件担当】

スポーツ庁健康スポーツ課

担当：福島、近藤

アドレス：kensport@mext.go.jp

電話：03-5253-4111(内線4140)

スポーツ外傷等による脳脊髄液減少(漏出)症への適切な対応について



スポーツ庁

① 脳脊髄液減少 (漏出) 症

スポーツ活動中に頭頸部や背部等の外傷等が発生することがありますが、スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、**起立性頭痛**（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する脳脊髄液減少（漏出）症とよばれる疾患が起こることがあります。



② 早期の適切な対応



スポーツ外傷等の後、頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、**水分補給**や**横に寝て安静を保つ**こと、また、**医療機関で受診**をさせたり、家族に連絡して医療機関の受診を促すなどの**適切な対応**が**早期に行われることが重要**です。



③ 受診

「脳脊髄液漏出症」については、早期の受診が望まれます。安静と水分補給で改善しない場合は硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ）*1（保険適用の対象）という治療法が選択される場合もあります。

保険診療として治療を受けるためには、診断に関する要件や医療機関の施設基準がありますので、適宜医療機関に相談いただくようお願いいたします。

*1 ご本人の血液を硬膜の外側に注入し、その血液で硬膜の漏出部位を塞ぐ方法。

